

Table with 2 columns: 学校名 (小城市立桜岡小学校) and 1 前年度 評価結果の概要 (全体指標の項目1「自分にはよいところがあると思う」は79.3%、項目2「先生はあなたのよいところをほめてくれる」は80.9%であった。目標達成には至らなかったものの、昨年度より伸びを見せた。また、重点目標①②③については、特に重点②「桜岡スタイル」での授業実践、重点③道徳科や人権教育の充実、悩みを抱える子への組織的対応についての教職員の評価が大きく伸びており、個々の職員が重点目標を意識した共通実践ができたと評価している。保護者評価においても、重点②志を高める教育、重点③道徳教育、教育相談についての伸びは顕著である。
2 学校教育目標 (自らを友達を大切に、未来に向けて花開こうとする桜つ子の育成)
3 本年度の重点目標 (「いのち・心はひとつ」「ひとつずつの積み重ね」を胸に、一人一人の教職員が、学校教育目標の実現に向けての意識を高く持ち、子供の「自己有用感」を高める取組を推進する。)

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

Main evaluation table with columns: 評価項目, 重点取組, 成果指標 (数値目標), 具体的取組, 進捗度 (評価), 中間評価 (進捗状況と見通し), 達成度 (評価), 最終評価 (実施結果), 学校関係者評価 (評価, 意見や提言), 主な担当者. Rows include: ●学力の向上, ●心の教育, ●健康・体づくり, ●業務改善・教職員の働き方改革の推進.

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

Table with 2 columns: 重点取組 and 独自評価項目. Rows include: ●特別支援教育の充実, ●教育相談体制の構築.

5 総合評価・次年度への展望 (全体指標「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童が76%と目標値には至らなかったが、「先生はあなたのよいところをほめてくれる」については、昨年度より伸びている。引き続き、児童の自己肯定感や自己有用感を高めるような取組を実施していく。教育活動推進のための3つの重点①については、どの項目についても教職員同士の共通理解・共通実践がなされ、成果を上げている。②については、「桜岡スタイルでの授業実践等に努めた」と答えた教員が85%であり、「授業がわかる」と答えた児童が94%であったので、引き続き取組を続けていく。また、生徒指導についても、保護者の評価が90%を超えている。③についても、保護者の評価が90%を超えており、自信をもって取組を継続していく。今後は、どちらも数値が伸びてきているが、学習の振り返りをさらに充実させていくことや教職員の業務改善について職員から意見を集約しながら、できることから進めていく。